

「公の施設等評価及びあり方方針」の策定

～自らの市のことは自らが考え、創る～(今治市)

【取組概要】

整理統合による更新費用の削減

広域合併に伴い、800を超える公の施設を保有する現状を改善すべく、『自らの市のことは自らが考え、創る』ことをコンセプトに庁内職員によるプロジェクトチームにおいて、**今治市独自の「公の施設等評価システム」**を構築し、施設評価及びあり方方針を策定した。

人口 166,842 人

担当部署 企画財政部 企画課

取組み事例のURL

(<http://www.city.imabari.ehime.jp/kikaku/>)

【取組みの効果】



- ◆ **職員自らでゼロから作り上げた**評価システム
- ◆ システムを活用し「公の施設等評価及びあり方方針」を策定
⇒ **評価対象施設の1/4を廃止決定**
- ◆ 課題遂行を通じて、**職員の能力開発とスキルアップ**に貢献



公の施設等研究プロジェクト会合

【他団体へのアドバイス】

- ◆ 自らの市町に合った施設評価及びあり方方針を策定するに当たっては、以下の点が必要。
 - ・市町の**独自性**を持つこと
 - ・職員が意識を持って、管理運営計画を作成し、評価後、市民へ説明できるように、施設の詳細な**データの充実**に努めること
⇒ **すべてを見える化**

【創意・工夫した点】

- ◆ 施設を管理運営する上での課題が浮き彫りとなり、職員の意識や理解、取組みの現状が実績データに照らして検証できる**独自の評価システム**。
 - ・「代替性」「有効性」「効率性」「PR性」の**4つの観点**で施設ごとに点検・評価を行う
- ◆ 合併に伴った地域別ではなく、全市的な視点で、**目的別に評価**を行った。
- ◆ グループ別に「A」～「E」の**ランキングによる施設評価**と今後のあり方方針を示す。



評価及びあり方方針全体説明会